

2022年度中央執行委員名簿

役職名	氏名	出身単組
中央執行委員長	真島勝重	全港湾(専従)
中央執行委員長代行 兼中央執行副委員長	竹内一	日港労連
中央執行副委員長	鈴木誠一	全港湾
同	瀬戸修	検数労連
同	遠藤一幸	検定労連
書記長	玉田雅也	(専従)
書記次長	高島弘司	日港労連(専従)
中央執行委員	鈴木龍一	全港湾
同	畠山昌悦	全港湾
同	橋崎正伸	全港湾
同	松永英樹	全港湾
同	川村俊	全港湾
同	新妻秀樹	全港湾
同	西脇敬	全港湾
同	法本健吾	全港湾
同	山田敏也	日港労連
同	田中章夫	日港労連
同	德里則之	日港労連
同	吉岡幸治	日港労連
同	稲田年弘	日港労連
同	崎田克己	日港労連
同	岡部正浩	日港労連
同	山田拓	検数労連
同	光部泰宏	検数労連
同	外池徹雄	検定労連
同	園田高義	検定労連
同	中辻浩二	全倉運
同	近藤雅貴	全倉運
同	小嶋敏弘	大港労組
同	佐藤文明	大港労組
同	須藤栄一郎	全日通
同	増田光男	全日通
会計監査	石橋覚	検数労連
同	大庭達也	大港労組
顧問	糸谷欽一郎	元全国港湾中央執行委員長
同	柏木公廣	前全国港湾中央執行委員長

リレー随筆 松永部員

「だんじり」は「だんじり」です。

皆さん、残暑厳しい折ですが、いかがお過ごしでしょうか。暑い中でのお仕事ご苦労様です。

さて、今回は出張のついでに行った、和泉市のだんじり祭りが今年行われるというので、その一週間



じりを紹介したいと思いましたが、令和2年、3年と新型コロナウイルス感染症のため、中止となっていただんじり祭りの起源に関しては、西暦740年頃に和泉国で大飢饉が発生しているようです。

初めに見るだんじりは大変迫力があり「曳き手」「囃り物」「大工方」「前梃子」「後梃子」さんたちが一体となって練り出される「やまわし」は見ている者も緊張が走りました。

青年団を中心とした「曳き手」の中にはちっちゃい子供や、若い女性もおり、町中の全員が参加しているようでした。後で聞くと女性には高校生までとされているようです。また、町会長



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済

coop

になった小杜の方からは「町内のみんなが参加し、見事な「やまわし」を披露することでその町内の団結力が示せるのでみんな必死になってやっている。」とのことでした。何かそこ

をトップとしたお祭りの組織には、総括責任者や若頭、三十人組や帳元など様々な役職(町内会によって違うらしい)があり、これも町内が一体となって運営されていました。今回お世話

行ってみてください。

今回は、第33条の日曜荷役に進みます。この項は、第5章の労働時間、第6章の休日・休暇と密接な関係があります。また、全国港湾は1972年11月に結成され、本年2022年は結成50年節目の年です。全国港湾結成の契機になったのが、日曜・祝日完全休日をめざす各地域のたたかいであったことは、このコーナードで幾度となく関連条項とともに紹介してきました。その意味では、港湾の作業・運営体制の大きな転機となりました。こうしたことを踏まえて、「第33条日曜荷役」を読んでいくことにします。

港湾産別協定

36

～日曜荷役～

協定の冒頭に「日曜荷役を実施する」と確認しています。産別協定第25条の労働日(月曜・金曜日)や28条の休日規定との関係が分かりにくいので、そもそも、日曜完休闘争で勝ち取り、その後日曜・祝日に稼働するが進んだのだから「なぜ?」との疑問が生まれるのは当然です。ここには、産別運動を追求する中での苦悩と紆余曲折があります。

今回は、第33条の日曜荷役に進みます。この項は、第5章の労働時間、第6章の休日・休暇と密接な関係があります。また、全国港湾は1972年11月に結成され、本年2022年は結成50年節目の年です。全国港湾結成の契機になったのが、日曜・祝日完全休日をめざす各地域のたたかいであったことは、このコーナードで幾度となく関連条項とともに紹介してきました。その意味では、港湾の作業・運営体制の大きな転機となりました。こうしたことを踏まえて、「第33条日曜荷役」を読んでいくことにします。